



『自分の夢』をもち、実現を目指しましょう！

～サッカーワールドカップを観戦していると思うこと～

右の『夢』の詩をご存じの方も多いかと思います。「京都伏見稲荷大社の眼力社」さんの詩で、私が感銘を受けた言葉のひとつでもあります。

今、サッカーワールドカップで日本代表が、チーム一丸となって夢の実現を目指している姿が日本中に感動を与えています。また今シーズンの野球では、大谷翔平選手や村上宗隆選手の活躍が日本中を明るく楽しくしてくれました。

TV番組からの受け売りになりますが、活躍している選手の皆さんは、子どもの時からの夢を実現されています。ただ「夢」をもつだけではなく、そのために何をするのかを考え、ぶれることなく、楽しく努力してきたようです。

「夢」をもつことは、今すぐ誰でもできます。さあ！自分の夢をもち、実現を目指しましょう！

「夢」

夢	ある	もの	は
希望	ある	もの	は
目標	ある	もの	は
計画	ある	もの	は
行動	ある	もの	は
実績	ある	もの	は
反省	ある	もの	は
進歩	ある	もの	は

(京都伏見稲荷大社 眼力社)

～ 11月の「いじめアンケート」の結果について ～

学校では年に2回、いじめの問題への早期発見・早期対応を目的に、「いじめ」についての児童アンケート調査を実施しています。今年度の2回目を11月上旬に実施しましたので、その結果についてお知らせいたします。

今回のアンケート調査では、回答児童数266名のうち、17名から「今年の4月から11月まで、嫌な思いをしたことがある」と回答がありました。6月のアンケートでの同じ設問の回答よりは26名少なくなりました。しかし、17名からは「冷やかしかからかい、悪口を言われる」「仲間外れや無視をされる」「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする」等の回答がありました。その子達へ担当が聞き取りをしたところ、すでに指導し解決した事案や個別指導を継続している事案でしたが、今後も、その都度事実関係を把握しながら該当する子どもたちへの指導と観察を継続し対応していきます。

また、「苦しんだり、悩んだりして心が傷つくいじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか」の設問には、「そう思う(226名)」「そう思わない(10名)」「よくわからない(30名)」と回答があり、「そう思わない」と回答した子どもたちの気持ちや心の中にある不安等が何なのかが気になり心配しています。

学校では、「いじめは決して許されないことの指導」と「お互いを認め励ます学級づくり」に組織的・継続的に取り組み、些細なけんかやふざけ合い等が、いじめにつながるないように、複数の先生方で子どもたちの様子を注意深く観察し対応し指導を継続しています。ご家庭でもぜひ「いじめ」について話し合う機会を設けていただき、保護者の皆様の思いや願いをお子様にお伝えいただくと幸いです。

◇◇12月の主な行事予定◇◇

- 12月 8日(木) ALT 来校日
児童活動日
15日(木) ALT 来校日
22日(木) ALT 来校日
※23日(金) 終業式
24日(土) 冬季休業開始
【~1月15日(日)まで】
26日(月) 冬の学習サポート
27日(火) 冬の学習サポート
29日(木) 学校閉庁日
【~1月3日(火)まで】

○コロナウイルス感染症の感染状況によっては、予定が変更となる場合があります。ご了承ください。

◇◇5年生が脱穀体験◇◇

10月末日に5年生が自分達で田植えをして稲刈りをした稲穂を脱穀しました。現在は機械で作業を行いますが、昔の道具「足踏み脱穀機」と「千歯扱き」使ってチャレンジしました。また、脱穀後の稲わらをほうきがわりにして、子どもたちは落ちている粃を集めていました。

12月には、師走らしく、収穫した「もち米」で、「餅つき」をする予定です。



◇東陽小ホームページ開設◇

美幌町内小・中学校において、学校ホームページを開設することとなり、本校でも「美幌町小中学校ホームページ開設基準」に基づき、学校ホームページを開設しました。一部準備中の部分もありますが、随時更新していく予定です。ご活用ください。

★東陽小 HP の QR コード⇒



第38回美幌町「少年の主張」

11月12日(日)に「第38回美幌町「少年の主張」大会が開催され、各小学校から代表2名が参加し、東陽小からは6年生の石澤羽菜さんと下田花奈さんが出場しました。石澤さんは「不登校の人が学校へ来やすい環境づくり」、下田さんは「平和な社会へ」をテーマに、「序論・本論・結論」の基本構成で、自分の経験や時事を根拠や例に挙げながら、自分の思いや考えを参観者へ伝えていました。

石澤さんは
最優秀賞でした



下田さんは
優秀賞でした



◇◇先生も日々お勉強です◇◇

11月16日(水)に、コロナ対策を講じ、東陽小以外の先生方や教育関係者をお招きして、研究会を行いました。参加者の皆さんに授業を観ていただいた後、「子どもたちが自ら学び、自ら考える」授業の在り方について、他校での実践例やご助言・ご示唆をいただきました。また、子どもたちの学習態度や集中力、挨拶の良さも褒めていただきました。

6年授業を参観



その後は研究協議



11月27日(日)北見市民会館にて、3年ぶり開催の「オホーツク管内小学校バンドフェスティバル」(有観客)に、東陽小プラスバンドが参加してきました。

スカパラの『パラダイス・ハズ・ア・ノー・ボーダー』
を演奏中の東陽小プラスバンドメンバーです♪

